



奥村 健郎 議員

木質バイオマス発電 について

問 原町火力発電所における木質バイオマス燃料導入に対する本市としての基本的な考え方。県、近隣市町村、森林組合等との連携、仕組みづくりについて伺う。

答 地球温暖化防止に資するばかりでなく、森林整備の促進と本市の林業活性化を見込める点からも大いに期待しており、県と連携しながら森林再生プランを構築していく。

問 一連の経済効果を含めどのように捉え、今後どのように考えているのか伺う。

答 地域の森林資源を活用するため、森林再生の起爆剤になるものと考えている。また一連の工程において、多くの雇用等が期待され大きな経済効果が見込まれると考える。

問 原料の調達から

チップへの加工、発電所の消費までの流れが、発電所が立地する地域を中心に形成されるが、農林水産振興プランにおける今後の森林整備推進と、木質チップの混焼発電との関連について伺う。

答 農林水産振興プランにおいては、間伐材を有効利用し、森林施業の負担軽減を図り森



原町火力発電所（東北電力㈱提供）

林整備、促進を図ること。そして特定間伐促進計画の着実な実行を見定めることです。今回の木質燃料発電事業により、これまで需要が少なかった林地残材となっていた小径木等の用途が広がったことから、より着実な振興が見込まれていくものと考えている。

ちょっとホンネ

将来を見据えた新会社設立など、新たな発想と素早い対応・行動を期待したいものです。

その他の質問

- 1 太陽光発電補助の今後の推進について
- 2 次世代省エネ住宅と高効率機器について
- 3 原町火力メガソーラー発電導入について



小川 尚一 議員

市役所は「幸福創造企業」

問 行政の役割は、市民の福祉向上であり、「福祉」とは辞書を見ると「幸福」とある。さらに地方公共団体の目的が「最大多数の最大幸福」とするならば、株式会社南相馬市役所は、市民の「幸福」であると考えられるが、「市民の幸福」をどう捉えているか。

答 地方公共団体として、自治法にある役割を果たすことで、最終的に多くの市民が幸福を実感できると考える。

問 「幸福」の定義は難しく、人それぞれに実感は違う。心理学者のカール・ユングは、「幸福の条件」として、

- ① 豊かな人間関係がある。
- ② 朝起きてやるべき仕事がある。
- ③ 健康である。
- ④ 美しいものを見て美しいと感じる心がある。
- ⑤ 自分に見



心なごますひまわり畑

合ったお金がある。を示しているが、具体的な取り組みを伺う。

答 市の施策が市民の幸福にどう繋がるか意識しながら進めることが大切だと捉える。

問 「幸福創造企業」という位置づけで市役所経営に努めるか。

答 まさにその通り、取り組んでまいりたい。

「花と緑いっぱいのもちづくり構想」

「花と緑いっぱいのもちづくり」を常磐

ちょっとホンネ

「幸福の5つ条件」は、示唆に富んでいる。自分に置き換えて考えてみてください。

その他の質問

- 1 大甕産業廃棄物処理施設の基金積み立て
- 2 産廃施設の田堤ため池設計変更について
- 3 下水道事業の受益者負担と賦課時期



竹野 光雄 議員

新卒就職支援策

コチル調査

問 新規学卒者の就職活動が、正念場を迎えています。就職難で深刻さをましている現状について、市内高校の新卒者に対する取り組みについて伺う。

答 本市独自の高校卒業生への就職策として支援事業を実施し、市独自で支援員2人を配置し、各高校を訪問しながら、状況に応じた支援活動に努めている。

問 市として、地元の中小企業に、優遇措置等考え、受け入れ増につなげる手立てが必要と思うが伺う。

答 市では、緊急雇用対策等を行っている。さらに国では、就職支援に、補助金を当てるケースも有り、制度活用で、就職支援に取り組んでいく。



問 コチル調査が一月から実施となり、当市も選定を受けたが、調査に不安視の声もあるが、どう対応するか伺う。

答 県立医科大学にエコチルユニットセンターを置き、傘下の医療機関の協力を得て、実施していく。

問 13年間という長期間の調査であり、対象者の個人情報等の内容については、十分配慮

が必要と考えるが、取り組みについて伺う。

答 妊婦検診等の中で、同意をいただき、登録となり、調査が始まります。環境及び生活習慣が、子供の発育、発達に対する影響調査をして、子供の健全育成に努めていく運びとなります。

ちょっとホンネ

新春を迎え、本年こそは、経済・景気の向上になるよう、強く念じたいものです。

その他の質問

- 1 常勤講師の実態について
- 2 指定管理者制度について
- 3 環太平洋連携協定について



志賀 稔宗 議員

災害に強い

南相馬市を

問 総合計画で、災害に強い都市基盤づくりを目指しているが、豪雨対策の進捗状況を伺う。

答 原町区橋本町地区等で雨水幹線整備、西町地区で笹部川整備、小高区田町地区の浸水冠水対策工事等を進めている。

問 100億円の市債削減によって整備計画が遅れることがあってはならないが見通しを伺う。

答 防災の視点から整備順位と優先性をもって進めている。豪雨による被災・危険箇所は精力的に予算を確保し対応する。

問 土砂災害の危険性も増大している。土砂崩れ防止対策補助について見解を伺う。

答 住宅、農地、指定林等への補助制度



土砂崩れ現場（原町区）

及び指定急傾斜地は県事業で保全対策を進めている。これら制度を活用して対応したい。

問 規模が小さいため補助制度に該当せず、自助努力では手に余る場合に公助の手を差しのべることへの見解を伺う。

答 個人財産については、自己責任ということもあり、なかなか踏み込めない状況だが、

答 基本的には国の政策であり、国の指導援助を得ながら市としても引き続き調査し良い方向を模索したい。

ちょっとホンネ

大雨でも安心して暮らせる日を一日でも早く実現したいものです。

その他の質問

- 1 生活道路の整備促進について
- 2 公共交通体系の確立と交通弱者の足確保
- 3 幼稚園・保育園一体化と待機児童解消

一般質問